

中山間地域における空き家を改修した都市農村交流施設整備
—地域住民組織「貴和の里につどう会」の取り組み事例—

正会員 ○山本 幸子*
正会員 中園 真人**

古民家 改修工事 住民主体
役割分担

1. 研究の背景と目的

近年 NPO 法人等が主体となり空き家・廃校等を有効活用した都市農村交流施設等の新たな拠点づくりが進められている^{1,2)}。一方で既存建物の多くは老朽化しており、活用には大規模な改修を要す可能性が高いが、専門的技術を持たない地域住民のみで建物の安全性を考慮した十分な改修を行うことができるかが課題である。

その中で本論で対象とする事例は築 100 年以上の農家住宅であるが、地域住民組織により水平調整工事や基礎工事・構造部材交換を含めた大規模改修が実現している。本研究では改修工事参加者の属性と工程・役割分担方法について分析を行い、地域住民組織による大規模改修が実現できた要因について検証することを目的とする。

2. 貴和の里につどう会の設立経緯と活動経過

調査対象地域を図 1 に示すが、下関市菊川町縦の木・道市・轡井集落は人口 156 人、55 世帯、高齢化率 45.5% (平成 17 年国調)の小規模農業集落である (図 1)。平成 19 年 3 月に集落内唯一の小学校が廃校になり、廃校を活用した地域再生事業に取り組むことを目的に、平成 19 年 6 月地域住民により「貴和の里につどう会」が設立された。

表 1 に活動経過を示すが、設立後会員数は 20 名から 80 名にまで増え、町内の福祉施設や竹林ボランティア、大学等、多様な主体と連携が広がっている。それに伴い活動内容も都市農村交流イベントに加え、小学生を対象とした夏休みの田舎体験プログラム「地域塾」の開催や、耕作放棄地の活用等、設立後 3 年間で地域資源を活用した幅広い活動が展開されている。活動の資金源を助成金により確保できたことも活動の早期の進展を促している。

活動拠点は廃校を利用していましたが、平成 21 年 6 月に空き家を活用した交流施設「貴和の宿」がオープンし、大人数の食事・集会に対応でき、宿泊型の体験事業を行うための新たな施設が整備された。

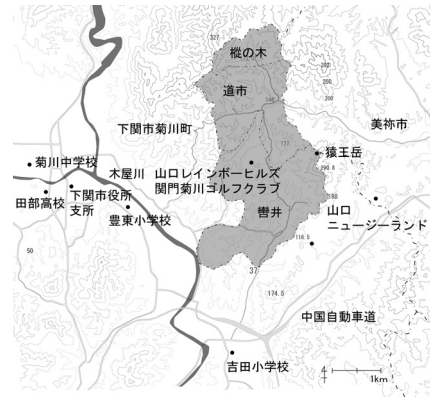


図 1 調査対象地域

3. 「貴和の宿」改修のプロセス

3.1 改修内容

提供された空き家は敷地西面に流れる川の影響で地盤が緩く、地盤沈下により建物が西側に傾き腐食が著しかったが、会員の自家であったため大規模改修に対する理解が得られた。改修内容を図 2 に示すが、最も腐食していた浴室は解体・撤去され、土間台所と西面居室についてはジャッキアップを行い水平調整後、基礎工事、柱の交換・根継ぎ、土台・足固め・大引き・根太の交換、床・壁の張替え等が行われた。梁と柱頭及び足固めと柱脚接合部は羽子板ボルトにより補強された。土間台所に隣接する西面居室は、大人数での食事ができるよう約 24 畳の板間に改修され、囲炉裏も移設された (写真 1,2)。

3.2 改修工事の工程と作業分担

改修工事は地域内に住む定年退職者 4 名(B,C,D,E 氏)と C 氏の知人で隣の地域に居住する A 氏の計 5 名により行われた。改修工事の工程を表 2 に示すが、定年退職後に

表 1 「貴和の里につどう会」の活動経過

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
組織構成の変化 (新規加入団体を示す)	地区住民, 豊閑村おこし応援団 地域共生ホーム中村さん家 山口県立大学生涯現役社会作り学会	下関市立大学, 山口大学 きくがわ竹林ボランティア, 社会福祉協議会菊川支所 道市営農組合, 道市自治会, 轡井自治会	
活動拠点	轡井公会堂, 廃校	轡井公会堂, 廃校	轡井公会堂, 廃校, 貴和の宿
資金源	山口県「高齢者参加型コミュニティ 構築支援事業」助成金	国土交通省「新たな公によるコミュニティ創生支援モデル事業」助成金 農林水産省「農山漁村地域力発掘支援モデル事業」助成金	
主な活動内容	・都市農村交流イベント開催(芋掘り) ・講演会開催 ・地域住民に対するアンケート実施 ・竹林整備 ・視察研修(2回)	・都市農村交流イベント開催(芋掘り・田植え等) ・地域塾開催(小学生対象) ・耕作放棄地調査, 草刈り, 耕起 ・空き家調査, 〇邸改修工事(貴和の宿) ・竹林整備	・都市農村交流イベント開催(芋掘り・田植え等) ・地域塾開催(小学生対象) ・耕作放棄地草刈り, 耕起, 景観作物植え付け ・炭窯製作・竹炭づくり ・牛の放牧

The facility utilizing vacant houses for urban-rural exchange in mountainous region -A case study on the local organization named "Kiwanosato-ni-tsudoukai"-

Sachiko Yamamoto, Mahito Nakazono

